

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会

2. 日時：令和3年8月27日（金）10時00分～11時15分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、新井安全審査官、高松専門職、横山係長、久川係員、高木  
技術参与

大辻室長補佐（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

坂本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当1名

福島第一原子力発電所 担当9名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 2号機 X-53ペネトレーション（以下「ペネ」という。）孔径拡大作業の実施について
    - ✓ 現在、2号機において、X-6ペネ近傍のX-53ペネにスプレイ治具を取り付け、スプレイを行うことにより、X-6ペネ内の堆積物除去作業時及び原子炉格納容器（PCV）内の干渉物切断時に発生するダストを抑制することを計画している。
    - ✓ スプレイ治具を取り付ける前の準備作業として、加工機（ホールソー）を用いて、現在のX-53ペネフランジの孔径の拡大作業を本年9月中旬から実施する予定である。
    - ✓ なお、同作業においては、これまでの作業と同様に、ダストの発生が想定されることから、ダストモニタ及び局所排風機を用いて、作業中に発生するダストの濃度監視や飛散防止を行う予定である。
  - 2号機原子炉圧力容器窒素封入ライン追設について
  - 3号機使用済燃料プール内の燃料取出し完了に伴う実施計画変更他について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
  - スプレイ治具の取付作業を含め、2号機PCV内部調査やデブリの試験的取り出しに必要な作業については、今後も引き続き、進捗状況を説明すること。
  - 今回、概要の説明があった「2号機原子炉圧力容器窒素封入ライン追設」及び「3号機使用済燃料プール内の燃料取出し完了に伴う実施計画変更他」については、実施計画の変更認可申請において、その具体的な内容を説明すること。

6. その他

資料：

- 2号機スプレイ治具取付け作業のうちX-53ペネ孔径拡大作業の実施について
- 2号機原子炉圧力容器窒素封入ライン追設について
- 3号機使用済燃料プール内の燃料取出し完了に伴う実施計画変更他について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール

- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 使用済燃料プール水質状況について